

(検査4) 個別物件の審査方法検査  
具体的な構造計算の審査内容に係る構造審査担当者に対するヒアリング事項

以下の事項のうち、★印の項目を中心に、適宜選択して、審査の実施の有無やその具体的な方法を、必要に応じ図書を参照しながら確認。

- 1 プログラムが適用範囲内で使用されていること、荷重・外力の条件が適切であることの確認
- ★2 入力モデルのフレーム図と構造設計図との合致の確認
- 3 部材の剛性評価、フレームと耐力壁の水平力分担率等の計算仮定が妥当であることの確認
- ★4 フレームの応力算定結果（応力図）について、異常値がないこと、及び断面計算用応力の値との合致の確認
- ★5 断面計算用の断面リストの内容と構造設計図の合致の確認
- 6 断面計算の結果（検定結果）がクライテリア※を満足することの確認
- 7 地盤条件が地盤調査に基づき適切に設定されていることの確認
- 8 ルート1・2の場合、それぞれのクライテリア※（壁量等、層間変形角、剛性率・偏心率、部材別条件）に適合することの確認
- 9 ルート3の場合、保有水平耐力の算定、必要保有水平耐力の算定（ $D_s$ 設定を含む）が適切になされ、クライテリア※（層間変形角、 $Q_u/Q_{un} \geq 1$ ）に適合することの確認
- 10 限界耐力計算の場合、損傷・安全それぞれの限界変位・固有周期・地震力（加速度応答スペクトル）等の算定が適切になされ、クライテリア※（層間変形角、稀な地震時の地震力 $\leq$ 損傷限界耐力、極めて稀な地震時の地震力 $\leq$ 保有水平耐力）に適合することの確認
- 11 ヘッダー表示が全ページ同一内容であることの確認
- ★12 ウォーニング・メッセージ及びエラー・メッセージの内容と、それぞれに対する所見・安全性確認等の適切性の確認
- 13 プログラムの初期設定の変更の有無。「有」の場合その妥当性の確認
- 14 構造設計図の内容について、疑義があると感じた個所（断面寸法が小さい、配筋が足りないなど）の有無。「有」の場合具体的内容とそれに対する対応
- 15 構造設計図の内容について、施工性上疑義があると感じた個所（斜め梁採用による配筋困難個所等）の有無。「有」の場合具体的内容とそれに対する対応

※クライテリア：要求条件